

佐賀県が実施するシニア向けセキュリティ講座「スキルアップ講習会」

「スマホ利用者の視点から見たセキュリティ対策」

2021年3月4日



公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所

原田 美織 (harada@hyper.or.jp)

目次

1. 自己紹介

2. 目的

3. なぜICT機器を使うのか？

4. なぜ情報セキュリティ対策が必要なのか？

5. スマホ利用の視点から見た情報セキュリティ対策のポイント

6. まとめ

公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所

- 本部：大分県大分市 ※姫島サテライトオフィス開設
1993.3 経済産業省・総務省により財団法人として許可・設立
2013.4 総理大臣認定を受けて公益財団法人へ移行

■所管：内閣府

■本部：大分県大分市東春日町

■設立者：

大分県、NTTデータ、NTT、NEC、富士通

■所員数：本部15名、大分市情報学習センター13名

■理事長：村上 憲郎（元Google副社長兼日本代表）

■ウェブサイト：<http://www.hyper.or.jp/>



ハイパーネットワーク社会の健全な実現の推進

調査研究

普及啓発

人材育成

目次

1. 自己紹介

2. 目的

3. なぜICT機器を使うのか？

4. なぜ情報セキュリティ対策が必要なのか？

5. スマホ利用の視点から見た情報セキュリティ対策のポイント

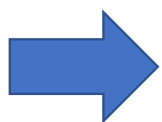
6. まとめ

目的

ICT機器を使用する機会が少ないシニア層を主な対象に、情報セキュリティ・モラルの向上を目的としたセキュリティ講座を実施。

■よりよい講座を実施していくために・・・

1. ICT機器を使う意義を伝える
2. 情報セキュリティ対策の必要性・重要性を伝える
3. スマホ利用の視点から見た情報セキュリティ対策のポイントを伝える



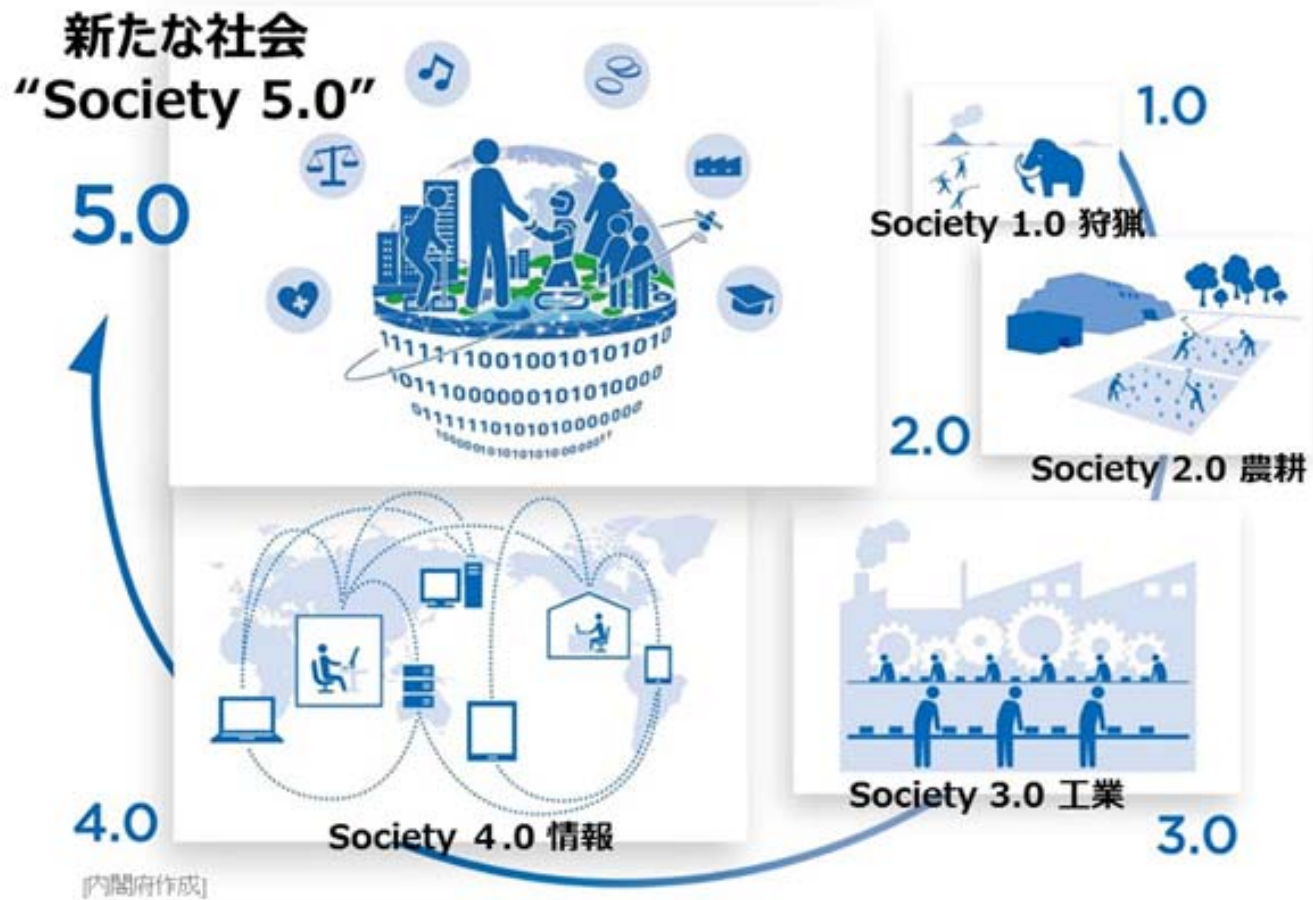
相手のアクションにつながる！

ICT機器を積極的に使い、情報セキュリティ・モラルに取り組む

目次

1. 自己紹介
2. 目的
3. なぜICT機器を使うのか？
4. なぜ情報セキュリティ対策が必要なのか？
5. スマホ利用の視点から見た情報セキュリティ対策のポイント
6. まとめ

なぜICT機器を使うのか？



内閣府 https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/

Society 5.0は、どんな社会？



[内閣府作成]

https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/

Society 5.0が実現すると…

年齢や性別、場所や環境の違い等を越えて、格差なく、多様なニーズにきめ細かに対応したモノやサービスを提供できる社会がやってくる



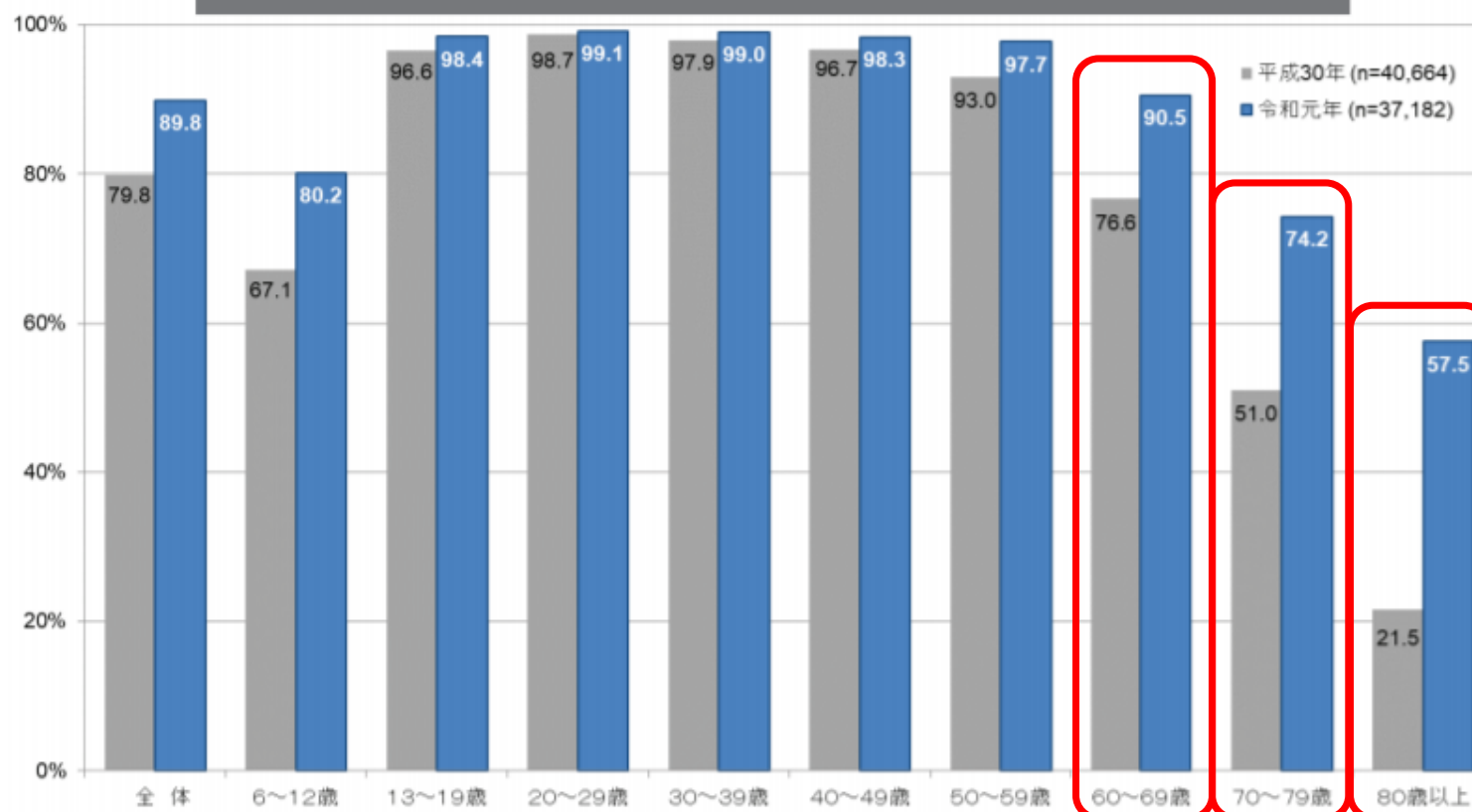
https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/

目次

1. 自己紹介
2. 目的
3. なぜICT機器を使うのか？
4. なぜ情報セキュリティ対策が必要なのか？
5. スマホ利用の視点から見た情報セキュリティ対策のポイント
6. まとめ

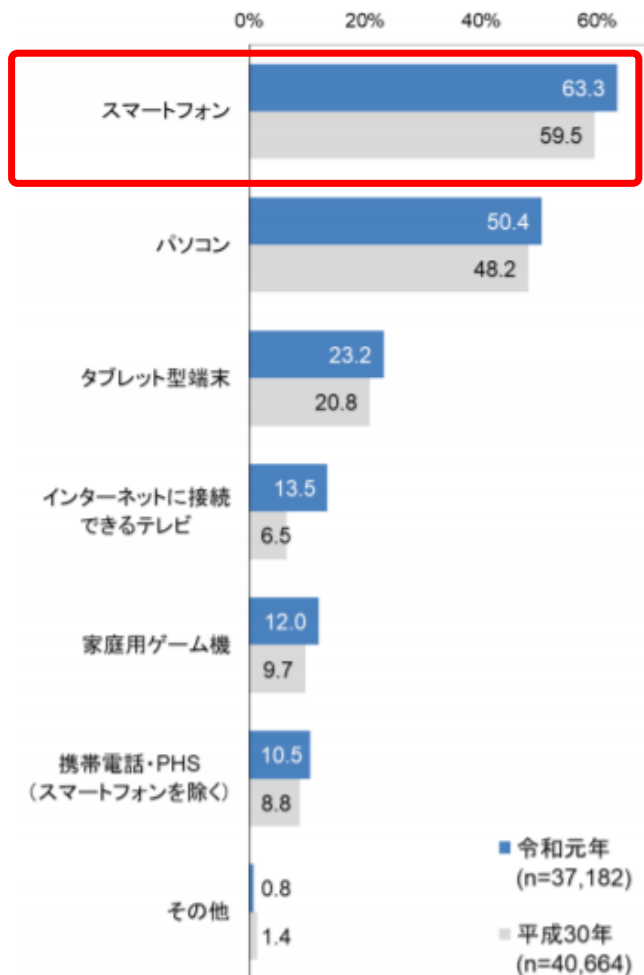
利用実態

インターネット利用状況（個人）

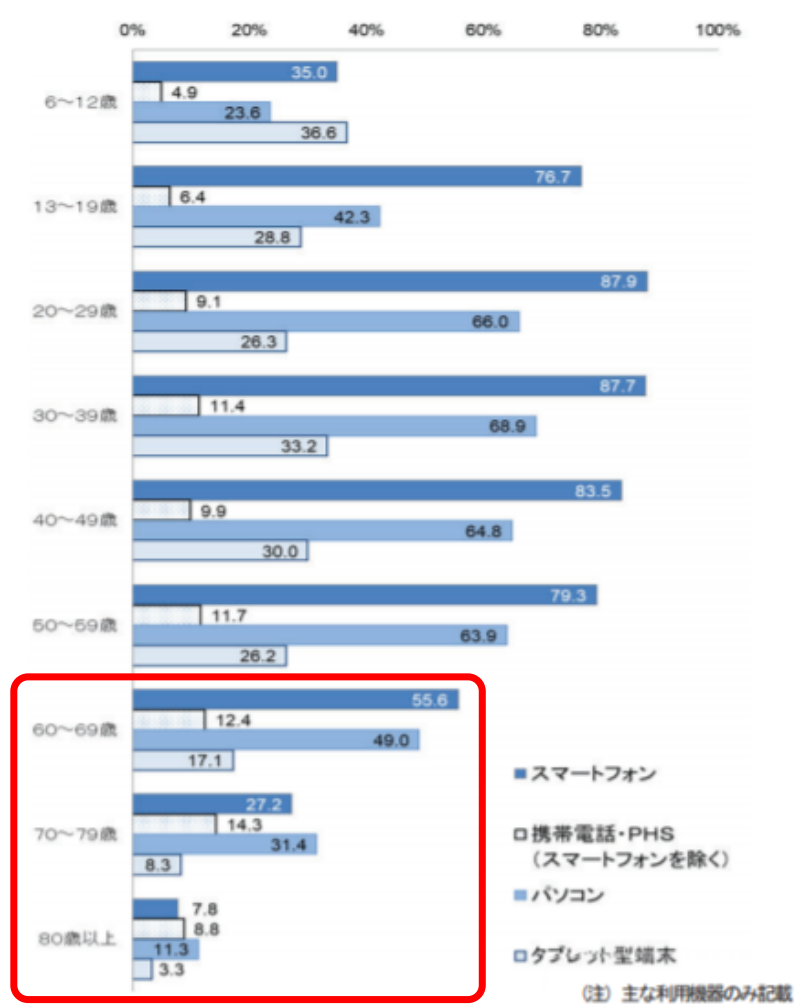


総務省 令和元年通信利用動向調査 https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/data/200529_1.pdf

図表1-5 インターネットの端末別利用状況



図表1-6 年齢階層別インターネット端末の利用状況



図表2-2 年齢階層別インターネットの利用目的・用途（複数回答）（令和元年）



シニアのICT機器利用の特徴

■端末は？

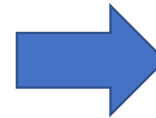
- ・スマホ（スマートフォン）の利用が増えている

■利用用途は？

- ・電子メール
- ・SNS（ソーシャルネットワークキングサービス）
- ・インターネットの閲覧、更新
- ・商品、サービスの購入（金銭取引）

シニアのICT機器で取り扱っているデータ

- 名前
- メールアドレス、メール本文
- 写真、映像
- SNSでやりとりする情報
 - プライベート情報
 - 交友関係
 - 行動履歴
- ネットショッピング等に用いる情報
 - 住所、電話番号
 - クレジットカード情報、電子マネー情報



- ご自身の情報
- ご家族の情報
- 知り合いの情報

だから、情報モラル・情報セキュリティ

情報モラル

人権の尊重

- ・ 人格の尊重
- ・ プライバシー
- ・ 名誉・信用
- ・ 表現の自由

安全への配慮

- ・ 個人情報保護
- ・ 情報セキュリティ

社会的公正への配慮

- ・ 情報アクセシビリティ
- ・ 知的財産権保護

目次

1. 自己紹介
2. 目的
3. なぜICT機器を使うのか？
4. なぜ情報セキュリティ対策が必要なのか？
5. スマホ利用の視点から見た情報セキュリティ対策のポイント
6. まとめ

OSやアプリを最新のものに

機能の追加だけでなく、バグや脆弱性を放置しないためにも重要！

■iPhone（アイフォン）

iOSのアップデート方法 <https://support.apple.com/ja-jp/HT204204>

アプリのアップデート方法 <https://support.apple.com/ja-jp/HT202180>

■Android（アンドロイド）

Androidのアップデート方法 <https://support.google.com/android/answer/7680439?hl=ja>

アプリのアップデート方法 <https://support.google.com/googleplay/answer/113412?hl=ja>

- ・ バッテリーを消耗するので電源コードをつないだ状態にする
- ・ 大量のデータ通信が発生することもある為、なるべくWi-Fiにつなぐ
- ・ 数時間かかるケースもあるので、時間の余裕も考えて実施する

端末の紛失に備える

なくしたり、盗まれたりすることもあるということを前提に、対策を！

■ 端末にパスワード等にかける

パスワード認証、生体認証、他要素認証

iphoneの設定方法 <https://support.apple.com/ja-jp/guide/iphone/iph14a867ae/ios>

Androidの設定方法 <https://support.google.com/android/answer/9079129?hl=ja>

■ 端末を探す機能を設定しておく（パソコンやタブレットが必要）

- ・ 位置を確認できる
- ・ 音を鳴らす
- ・ データを削除することができる

iphoneの設定方法 <https://www.apple.com/jp/icloud/find-my/>

Androidの設定方法 <https://support.google.com/accounts/answer/6160491?hl=ja>

不正アプリへの対策

- Android端末の場合、アプリはPlayストアでダウンロードする
Playストア以外でもアプリをダウンロードできるが、Playストアの審査を受けているアプリをダウンロードするべし。
ただし、Playストアでは大量のアプリの審査を日々行っているため、審査をくぐり抜けてしまった不正アプリがないとは言えないため、セキュリティソフトやウイルス対策ソフトを使うことが推奨される
- iPhoneの場合も
iPhoneがアプリをダウンロードできるのは、Apple storeのみ
Apple storeも審査を通過したアプリのみ取り扱っている為、ある程度は安心。ただし、審査をくぐり抜けた不正アプリがないとは言い切れない

ウイルス対策

- セキュリティソフト、ウイルス対策ソフトを利用する
セキュリティソフト、ウイルス対策ソフトも常に最新バージョンに！
- 怪しいメールや添付ファイルは開かない
有名なインターネットショッピングサイトを装ったメールが届いても、身に覚えのない場合は開かない。また、メールアドレスや文面に違和感のある場合は、詐欺メールの可能性が高いため、間違っても添付ファイルは開かないように！
- 不審なURLはクリックしない、不審なサイトを閲覧しない
有名な宅配業を装ったメールやショートメッセージも増加している
確認用のURLなどを記載しており、クリックさせるように誘導した文面が記載されているが、覚えがないもの違和感のあるものは相手にしない

※気になる場合は、該当業者を自ら調べて問い合わせるようにしましょう！

乗っ取りやなりすましへの対策

SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）やネットショップ等のインターネット上のサービスを利用する際に発行するIDやパスワード。自宅の鍵と同様に管理徹底を！

■IDとパスワードの管理

- ・紛失しないように管理
- ・パスワードを使い回さない
- ・二段階認証の利用
- ・名前や生年月日など予測されやすい内容は避ける

フリーWi-Fi利用の注意

公共の場所、コンビニやカフェなどの店内等で、誰でも利用できるよう無料で提供されたWi-Fiのこと。無料Wi-Fiスポット等とも呼ばれる。

■盗聴やのぞき見のリスク

暗号化されていない場合、通信が盗聴、のぞき見される等のリスクが生じる。ウェブ閲覧履歴やメールの内容等を同じフリーWi-Fiに接続している第三者が取得できる。

■なりすましアクセスポイントの存在

実在する正規のフリーWi-Fiと同じような名前でアクセスポイントが表示される。悪意のある人物が、盗聴やのぞき見、乗っ取り等を目的にしている可能性が高い。

※暗号化された（鍵マークのある）フリーWi-Fiのみ使用する

※フリーWi-Fi利用時はログインが必要なものなど重要な通信は避ける

目次

1. 自己紹介
2. 目的
3. なぜICT機器を使うのか？
4. なぜ情報セキュリティ対策が必要なのか？
5. スマホ利用の視点から見た情報セキュリティ対策のポイント
6. まとめ

まとめ

ICT機器を使用する機会が少ないシニア層を主な対象に、情報セキュリティ・モラルの向上を目的としたセキュリティ講座を実施。

■よりよい講座を実施していくために・・・

1. ICT機器を使う意義を伝える

→新たな技術を駆使してより便利で安全な社会の実現を目指す

2. 情報セキュリティ対策の必要性・重要性を伝える

→インターネットに接続し、多様なサービスを使うことができると同時に、保持し、取り扱うデータも莫大に増える（その中には、命や生活、金銭に関わる情報もある）

3. スマホ利用の視点から見た情報セキュリティ対策のポイントを伝える

→端末の紛失に備える、悪質な業者、サイトやウイルスから、データを守る

まとめ

技術やサービスは、めまぐるしく進化している。

「これさえやっておけば」はない。情報モラルの考えのもと、関わる人やモノをしっかりと踏まえて、考え、行動することが求められる。

情報モラル

人権の尊重

- 人格の尊重
- プライバシー
- 名誉・信用
- 表現の自由

安全への配慮

- 個人情報保護
- 情報セキュリティ

社会的公正への配慮

- 情報アクセシビリティ
- 知的財産権保護